【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第６区分
【発行日】平成18年3月2日(2006.3.2)

【公表番号】特表2005-528293(P2005-528293A)
【公表日】平成17年9月22日(2005.9.22)
【年通号数】公開・登録公報2005-037
【出願番号】特願2004-501264(P2004-501264)
【国際特許分類】
Ｂ６５Ｄ　1/00　(2006.01)
Ｂ６５Ｄ　1/02　(2006.01)
Ｂ６５Ｄ　25/02　(2006.01)
Ｂ６５Ｄ　51/24　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６５Ｄ　1/00　Ｂ
Ｂ６５Ｄ　1/02　Ｃ
Ｂ６５Ｄ　1/02　Ｄ
Ｂ６５Ｄ　25/02　Ｃ
Ｂ６５Ｄ　51/24　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成18年1月11日(2006.1.11)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
特に爆発危険性のある充填物を貯蔵し、搬送するためのプラスチックコンテナ（１０）であって、少なくとも２つのプラスチック層から成っており、内側の層（１４）が非導電性に、かつ外側の層（１２）が導電性に形成されており、内側の充填物と、プラスチックコンテナが載置されている下底との間に、電気的な接続が存在しており、該電気的な接続が、コンテナボディ若しくは充填物の爆発危険性の静電荷を阻止し、下底への静電荷の安全な導出を保証するようになっている形式のものにおいて、液状の充填物と導電性の外側のコンテナ層（１２）との間の導電的な接続が、永久的に組み込まれた導電性の導出ロッド若しくは浸管（１６）を介して、かつねじ込まれた同様に導電性の栓ストッパ（１８）を介して得られるようになっており、該栓ストッパ（１８）内に、導出ロッド（１６）が挿入されており、かつ栓ストッパ（１８）が、ねじ込まれた状態で樽ボディの導電性の外面（１２）と導電的に接触しており、導出ロッド（１６）が、コンテナの高さよりも約３％～３０％まで長く形成されており、これにより、導出ロッド（１６）が、導電性の栓ストッパ（１８）から、コンテナ下底の最も離れた領域まで到達するようになっていることを特徴とする、プラスチックコンテナ（１０）。
【請求項２】
導電性の栓ストッパ（１８）が、通気開口（３２）と、中央のより小さいねじ込みストッパ（３４）とを備えた通気－栓ストッパ（３２）の形で形成されている、請求項１記載のプラスチックコンテナ。
【請求項３】
挿入された浸管（１６）を備えた栓ストッパ（１８）が、クリンチリング（２２）により、プラスチックコンテナの栓管片内に解除不能に固定されている、請求項１記載のプラ

スチックコンテナ。
【請求項４】
挿入された浸管（１６）を備えた栓ストッパ（１８）が、通気開口（３６）と、ねじ込まれたより小さいねじ込みストッパ（３４）とを備えた通気－栓ストッパ（３２）の形で形成されている、請求項１または３記載のプラスチックコンテナ。